

VOL.01

2026.04

つながる、ひろがる

And

特集

And Message I

新院長インタビュー

地域を支える

“覚悟の舵取り”

And New Face- 新入職員紹介

And Care- 逆流性食道炎について

TAKE
FREE



公益財団法人 周南市医療公社
周南市立新南陽市民病院 広報誌

And Message

地域に根差して26年

新たな春、新たな一步を共に

新南陽市民病院を誰よりも愛する医師が、この春、院長に就任します。これまでの歩み、病院への思い、そして地域医療の未来について伺いました。

Q: まずは自己紹介をお願いします

院長 岩国市出身で、昭和37年生まれの63歳です。私の家は高祖父の父、つまり「ひいひいひい爺さん」の代から医師を続けており、私は6代目になります。昭和63年に山口大学医学部を卒業し第二外科に入局、平成7年に大学院を修了しました。平成11年に南陽病院へ赴任し、平成12年の新南陽市民病院開院時から勤務していますので、医師

の中では最も長く勤めていることになりました。自分でも、新南陽市民病院愛は誰よりも強い「と自負しています。趣味は柔道・空手（ともに初段）、スキー（モーグル）、野球、ソフトバレー、釣り、カーブ観戦、映画鑑賞と幅広く楽しんでいきます。



周南市立新南陽市民病院
院長
鈴木 道成

- 日本外科学会 指導医/専門医/認定医
- 日本消化器外科学会 指導医/専門医/認定医
- 検診マンモグラフィー 読影認定医
- 消化器がん外科治療 認定医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 身体障害者福祉法 指定医
- 日本医師会 認定産業医

専門医資格等

Q: 院長に就任された今のお気持ちを聞かせください。

院長 山口県で生まれ育ち、海の恵みとともに暮らしてきました。釣り好きの私には、魚の豊富なこの環境がたまらない魅力です。南陽病院に赴任してから気づけば27年。人生で最も長く過ごしているのがこの新南陽地区で、この地域には強い愛着があります。

平成21年から副院長と老健ゆめ風車の施設長を務めてきましたが、院長の責任はまったく別の重さがあります。病院の舵取りを任せられ、職員とその家族の生活がかかっている。その責任の重大さを強く感じています。身の引き締まる思いであると同時に、粉骨砕身で取り組まなければならぬと覚悟しています。

また、私は「職員全員がパートナー」という考え方を大切にしています。病院の職員は専門家集団ですので、皆さんをリスペクトし、その意見にしっかりと耳を傾け、力を最大限に発揮していただくことが院長の役割だと考えています。

Q: これからの地域医療の中で、当院はどのような役割を果たしていくべきでしょうか。

院長 現在、全国の自治体病院の9割以上が赤字という厳しい状況にあります。

2040年の地域医療構想では、医療機関が急性期、高齢者救急・地域急性期、在宅医療連携などに機能分化されると報じられています。

新南陽市民病院が急性期病院として生き残るためには、周南医療圏の他の病院と密に連携し、頻繁に話し合いを行うことが不可欠です。また、医師をはじめとした職員の確保、救急車応需率の向上、病院内外のステークホルダーとの連携強化、医療DXの推進、AI技術を活用した業務改革の推進など、取り組むべき課題は多くあります。これらを一つひとつ着実に進め、地域の急性期医療を守っていきたく考えています。

Q: 職員の皆さんへ、どのようなメッセージを伝えたいですか。

院長 これまでのトップダウン型から、これからはボトムアップ型へと変えていきたいと思っています。専門家集団である職員一人ひとりが、信頼性の高い情報やデータをもとに自分の頭で考え、行動し、組織を動かしていく。そんな力を身につけてほしいと願っています。

デジタルツールやデータを活用し、みんなに「シゴデキ」になってほしいですね。もちろん、医療職にとって最も大切なのは丁寧さと患者さんへの思いやりです。

職員が笑顔で働ける職場でなければ、良い医療は提供できません。働き方改革を重視し、家族との時間や余暇を確保し、健康管理やメンタルヘルスのサポートも強化していきます。職場のウェルビーイングを高めることが、結果として患者さんへのより良い医療につながると考えています。

Q: 最後に、地域の皆さま、患者さまへメッセージをお願いします。

院長 地域の皆さまから心より信頼される病院でありたいと考えています。年齢や背景、病状の重さにかかわらず、できる限り幅広く患者さんを受け入れ、地域医療を支える中核病院としての責任を果たしていきます。

特に救急医療では「断らない医療」を基本姿勢とし、急な病気やけがが不安な状況にある方を、いつでも安心して受け入れられる体制を維持します。また、日常診療から高度医療、回復期まで切れ目のない医療を提供し、地域で完結できる医療の充実を目指します。

私の信念は「誠意の限りを尽くす」ことです。目の前の患者さんに最善を尽くし、その積み重ねが信頼につながると信じています。地域の「いざという時に頼れる存在」であり続けられるよう、職員一同努力してまいります。

新年度のごあいさつ



看護部長
高菅 亜由美

新 年度を迎えるにあたり、日頃より当院の医療・看護に温かいご理解とご支援を賜っております地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

当院は地域に最も身近な医療機関として、患者さんが住み慣れた地域でその人らしく生活を続けられるよう、医療・介護・福祉と連携しながら看護を提供してまいりました。

近年は若い看護師が増えており、次世代を担う人材の育成が益々重要となっております。看護部では、経験豊かな看護師が知識や技術だけでなく、患者さんの小さな変化に気づき寄り添う姿勢を丁寧な伝え、思いやりとやさしさを育む環境づくりを大切にしています。

これからも地域の皆さまに信頼される看護の提供に努めてまいります。本年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



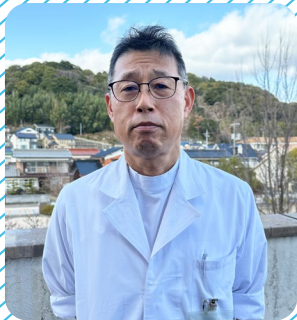
周南市医療公社
事務局長
石光 一

こ の度、周南市医療公社の事務局長に就任いたしました石光と申します。

現在、医療・介護を取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、当社においても経営基盤の安定化は急務の課題です。運営する病院、老健、訪問看護、居宅介護支援の4事業が緊密に連携し、「地域包括ケアシステム」を推進するとともに、経営改善に取り組んでまいります。「地域になくはないなら公的な医療・介護の拠点」として、地域医療の空白を作らず、市民の皆様への安心を支える役割を果たすことは当社の責務です。

経営の安定化を図るとともに、医療・介護の質を守り、さらに高めることが重要です。私自身もこの重責を担うにあたり、改めて初心に立ち返り、取り組んでいく覚悟です。全職員で、医療・介護の道を志した原点を胸に、共に歩んでいきますよう切に願っております。

寡聞にして力不足ではございますが、職責を全うすべく精一杯努めてまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



介護老人保健施設ゆめ風車
施設長
藤井 康弘

令 和8年4月より介護老人保健施設ゆめ風車の施設長を拝命いたしました。当施設は「やすらぎの場、すこやかな日常、こころに響くケア」を理念として、平成16年に開所し22年が経過しました。老健は地域包括ケアシステムの中で、医療と介護の連携を進めながら、在宅復帰や在宅療養支援を行っています。実際には、老健入所と在宅療養を交互に行いながら、在宅中はショートステイや通院リハの実施、歯科医師や歯科衛生士の訪問による口腔ケア、認知症リハビリとして学習療法なども行っています。病院と同様に、在宅復帰率やベッド回転率の向上なども求められている面もあります。

周南市では老人保険施設の閉所に伴い、入所、通所リハビリともにニーズが高まっており、多くの市民の方に利用していただけるよう努力していきたいと思っております。

令和8年度

新入職員のご紹介

春の訪れとともに、当院には新たに10名の新入職員が加わりました。社会人としての第一歩を踏み出した新卒職員をはじめ、これまでにさまざまな経験を積んできた中途職員も迎え、それぞれの力と個性が合わさることで、当院はより一層活気に満ちた新体制でのスタートを切ることとなりました。

新たな仲間とともに、患者さまに寄り添った医療とサービスの提供を目指してまいります。これからの成長と活躍を温かく見守っていただけますと幸いです。



糖尿病・血液内科 石堂 亜希先生

専門医等の資格：日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医



出身地

山口県 光市

専門分野

糖尿病・血液内科

趣味・休日の過ごし方

家でゆっくり過ごす



患者さんへのメッセージ

頑張って参りますので、宜しくお願いいたします。

看護部 H.Hさん



仕事で大切にしたいこと

患者さんの気持ちに寄り添うこと

日々のルーティン

毎日ちゃんと朝食を食べること

最近ハマってるものや好きなもの

猫の動画を見ること



看護部 N.Sさん



仕事で大切にしたいこと


丁寧な対応を心がけたい

日々のルーティン

朝に好きな音楽を聴くこと


最近ハマってるものや好きなもの

読書



看護部 R.Mさん

仕事で大切にしたいこと
自分の心身が安定した状態で患者さんに寄り添うこと

日々のルーティン
猫を吸うこと 

最近ハマってるものや好きなもの
3DSで妖怪ウォッチをすること



看護部 K.Oさん

仕事で大切にしたいこと
患者さんやスタッフとの信頼関係

日々のルーティン
毎日しっかり湯船に浸かること

最近ハマってるものや好きなもの
韓国アイドル



看護部 H.Kさん

仕事で大切にしたいこと
患者様に信頼してもらえるよう知識をつける

日々のルーティン
毎朝背伸びをする

最近ハマってるものや好きなもの
旅先で美味しいご飯を食べる!!



看護部 M.Tさん

仕事で大切にしたいこと
何事も一生懸命

日々のルーティン 
朝にフルーツを食べる

最近ハマってるものや好きなもの
シルバニアを集めること



看護部 R.Kさん

仕事で大切にしたいこと
患者さんの心に寄り添うこと

日々のルーティン
お風呂に入ったらまず洗顔

最近ハマってるものや好きなもの
筋トレとサッカー



看護部 Y.Yさん

仕事で大切にしたいこと
1人1人の思いに寄り添うこと 

日々のルーティン
料理をつかって一緒に食べる

最近ハマってるものや好きなもの
ゲーム実況をみること



リハビリ M.Tさん

仕事で大切にしたいこと
患者様1人ひとりに寄り添った介入

日々のルーティン
毎朝青汁を一杯飲む

最近ハマってるものや好きなもの
登山! 



リハビリ A.Hさん

仕事で大切にしたいこと
信頼関係 

日々のルーティン
朝の湯シャン(お湯のシャンプー)

最近ハマってるものや好きなもの
キャンプ



胸焼け、我慢していませんか？その症状…

逆流性食道炎 かもしれません



逆流性食道炎は、胃の中の胃酸が食道に逆流し、炎症を起こす病気です。通常、胃と食道の境目には胃の中のものが逆流しないようにする仕組みがあります。しかし、食生活や加齢、姿勢などの影響でこの働きが弱まると、強い酸性の胃液が食道に逆流し、粘膜に炎症を起こしてしまいます。

●症状チェックリスト

- 胸やけや、胸のあたりの違和感がある
- 酸っぱいもの・苦いものがこみ上げてくる
- 食後や横になると症状が出やすい
- のどの違和感や声のかすれがある
- 咳が長引いている



治療は、生活習慣の見直しとお薬が中心です。

お薬では胃酸を抑えて症状を和らげます。

逆流性食道炎は適切な治療で改善が期待できる病気です。

気になる症状がありましたら、ぜひ消化器内科へご相談ください。

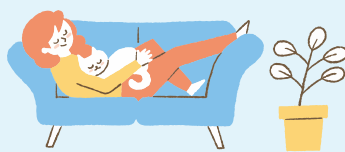
●胸焼け予防のコツ **3**選

食事



- 食べ過ぎない(腹八分目)
- 就寝2~3時間前は食べない
- 脂っこい料理を控える

生活リズム



- 夜更かしをしない
- 十分な睡眠をとる
- ストレスをため込まない

姿勢・体の使い方



- 食後すぐ横にならない
- 背筋を伸ばす
- ベルトやきつい服を避ける

この記事は

消化器内科

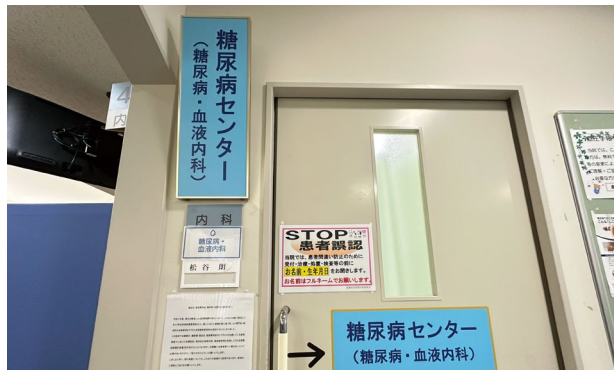
内科部長

齋藤真理 先生

専門医等の資格： ○日本内科学会 認定医 ○日本内科学会 総合内科専門医
 ○日本消化器病学会 専門医 ○日本消化器内視鏡学会 専門医
 ○日本医師会認定産業医

一言コメント： 消化器内科、特に胃や腸などの消化管を専門として治療を行っております。地域の皆様のお役に立てるように頑張ります。

糖尿病センターが始動しました!



糖尿病センター長のあいさつ

糖尿病センター設立は、先々代市長の時代から続く大きな課題でした。これまで計画が進んでは立ち止まる時期もありましたが、多くの職員の違いに支えられ、ようやくその第一歩を踏み出すことができました。

今回は「看板の完成」という形でのスタートとなりましたが、地域の糖尿病医療をより良くしたいという私たちの思いは変わりません。医師だけでなく、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士、事務職員など、すべての職種が連携し、患者さんの生活に寄り添うチーム医療を進めてまいります。

糖尿病指導医1名以上、専門医3名以上、複数の療養指導士を備え、地域に信頼されるセンターを育てていきます。

- 糖尿病・血液内科
 名誉院長・最高顧問
 糖尿病センター長
 松谷 朗 先生
- 専門医等の資格
- 日本内科学会 認定医
 - 日本内科学会 総合内科専門医
 - 日本糖尿病学会 専門医
 - 日本糖尿病学会 研修指導医
 - 日本医師会 認定産業医
 - 身体障害者福祉法 指定医

この記事を書いたのは:

And Link

地域連携室・
入退院支援センター
だより

地域とつながる
入退院支援の仕組み

入院や検査等のご相談、退院後の生活について不安はありませんか?

地域連携・入退院支援センターでは、外来・入院の受け入れ調整から退院支援、在宅復帰に向けた支援までを一体的に行っています。看護師と医療ソーシャルワーカーが連携し、ご本人やご家族の状況や思いを丁寧に伺いながら、安心して入院生活を送っていただけるようお手伝いします。

また、地域の医療機関や介護事業所とも密に情報共有を行い、退院後も必要な支援が途切れない体制づくりを進めています。私たちは「連携の力で支える医療」を大切に、地域全体で患者さんを支える役割を担ってまいります。気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

Announce 01 連帯保証人代行制度の導入について

当院では、入院時に保証人を用意できない方でも安心してご入院いただけるよう、連帯保証人代行制度を導入しています。**保証料の負担はなく、個人の連帯保証人は原則不要です。**

万が一、入院費が未納となった場合は保証会社が立替払いを行い、後日患者様へご案内いたします。支払い方法についても個別に相談できますのでご安心ください。

Announce 02 採用試験のおしらせ

採用試験日 2026年5月23日(土)

応募受付期間 2026年4月20日(月)～4月30日(木)必着

募集職種 看護師3名程度 薬剤師3名

要項や応募職種などの詳細は新南陽市民病院ホームページの職員募集情報をご覧ください。

お問い合わせ: 周南市立新南陽市民病院
 〒746-0017 山口県周南市宮の前二丁目3番15号
 ☎(0834)-61-2500(代) 管理課総務担当

And Event

参加費
無料

親子で体験!看護の日体験イベント

5月10日(日)10時~12時、当院1階ロビーにおいて、「看護の日」イベントを行います。

今年は「見つめる、その先のわたしへ」というキャッチコピーのもとに、小学4~6年生の親子を対象とした、看護体験や病院見学等を行います。コロナウイルスの流行後、小学生の面会が原則禁止となっている病院もあり、看護師の仕事を手近に感じる機会が少なくなっている現状です。

今回の体験イベントで、看護師という職業に興味や関心を持って頂けるよう準備中です。お申し込みは、当院Instagram、市広報、院内ポスターの二次元コード、またはお電話でも可能です。

たくさんのご参加を、お待ちしております!!!

お問い合わせ

周南市立新南陽市民病院
☎(0834)-61-2500(代) 担当:4階病棟 渡辺



看護師さんのおしごとを
ちょっと体験しながら
楽しく学べるコーナーです!



普段は入れない手術室など
病院の色々な場所を見学できます

開催場所 周南市立新南陽市民病院

日時 2026年5月10日(日)10時~12時

申込方法 専用フォーム(下記二次元コード)より
お申し込みください。
申込期限:4月30日(木)17時まで
定員:先着親子30組



And Hospital Guide

公益財団法人 周南市医療公社
**周南市立
新南陽市民病院**
Shunan City Shinnanyo Hospital



- 1.市民のための「地域病院」であること
- 2.医療及び健康を求める人々に親しまれ「開かれた病院」であること
- 3.健康・福祉との連携にも積極的に寄与し「市民コミュニティ」を形成すること
- 4.病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

住所	〒746-0017 山口県周南市宮の前二丁目3番15号		
電話	(0834) 61-2500	FAX	(0834) 61-2501
受付	8:00~	診察	9:00~ ※一部診療科は診療時間が異なります
診療科	●内科 ●消化器内科 ●外科 ●泌尿器科	●糖尿病・血液内科 ●腎臓内科 ●脳神経外科 ●眼科	●循環器内科 ●呼吸器内科 ●整形外科
休診日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)		



HP



●周南市介護老人保健施設 ゆめ風車

住所 〒746-0017
山口県周南市宮の前二丁目
6番27号
TEL (0834)-61-3151

●訪問看護ステーション ゆめ風車

住所 老健ゆめ風車1F
TEL (0834)-61-2510

●指定居宅介護支援事業所 ゆめ風車

住所 老健ゆめ風車1F
TEL (0834)-61-3277

営業時間 8:30~17:15

休業日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)